

2024年3月3日
3月第一主日礼拝式／聖餐式



「あなただけがわれらの神」

(詩篇18:31、使徒4:12)

あなただけが われらの神

あなただけが すくいぬし

主よ わたしはあなたのもの

主は わたしのすべて

主よ わたしはあなたのもの

主は わたしのすべて

85 神の国と神の義

神の国と神の義を

まず求めなさい

そうすればみな与えられる

ハレル ハレルヤ

新聖歌260番 「わが胸に響く歌あり」

1 わが胸に響く歌あり かつての悪しきしもべが
心の汚(けが)れ洗われ 喜びもて歌(うと)うなり

* 血潮(ちしお)にて洗われし わが身ぞ げにも幸なる
心の汚(けが)れ洗われ 喜びもて歌(うと)うなり

2 よし神の前に行くとも わが身はつゆも恐れじ
心の汚(けが)れ洗われ きよらの身となりし今

* (くりかえし)

3 み使いの歌うしらべに わが身の声もとけあわん
心の汚(けが)れ洗われ 恐れもなく歌(うと)う今

* (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌256番 「御翼(みつばさ)のもとに」

- 1 御翼(みつばさ)われをおおえば 嵐たけるやみよも
イエスに頼り安きあり われは神の子なれば
* わが主の愛より 離(はな)すものなし
御翼に守られ 永遠(とわ)に安(やす)けし

- 2 御翼われにとりては 悩むときの隠れ家(が)
癒(いや)す者のなき時も そこにわれは安(やす)ろう
* (くりかえし)

- 3 いのちの絶(た)ゆる時まで 御翼のかげに寄(よ)らん
イエスにありてわれ安(やす)し そこなうものなければ
* (くりかえし) アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン